様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９－１、Ｚ－１９　（共通）

科学研究費助成事業　　研究成果報告書

平成 ２９ 年　 ６ 月 ２１ 日現在

機関番号：３２６６４
研究種目：基盤研究(C)（一般）
研究期間：2014～2016
課題番号：２６３７０２４７

研究課題名（和文）和刻本漢籍における近世中期の通俗的注釈書の研究

研究課題名（英文）A study of the popular annotated editions in the case of Japanese reprints of the Chinese Classic in middle ages of early modern in Japan.

研究代表者
稲田　篤信（INADA, ATSUNOBU）

二松學舍大學・文学部・教授

研究者番号：２０１６８４０４

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費）　　2,600,000円

研究成果の概要（和文）：　本研究は近世中期における明清漢籍受容史の観点に立って、『唐詩選』・『世説新語補』など主として徂徠学派よって制作された国字解、講釈などと称する通俗的啓蒙的注釈書を取り上げて、漢籍のもたらす知の通俗化の諸相について吟味した。
　また、徂徠学派の中でもこうした傾向に批判的であった平賀中南の事蹟、言説について、重点的に分析し、この問題を多面的に考察した。

研究成果の概要（英文）：This study shows the trend which the Chinese Classic brought various aspects in the popularization of knowledge taking up the plain and enlightening annotated editions such as “Kokujikai” (translation in Japanese), “Koushaku” (lecture) on Tang shi xuan and Shishu xinyu bu produced by the academic group of Ogyu Sorai, standing at the point of view of the real condition of acceptance Ming-Qing Chinese Classic in middle ages of early modern in Japan.
I also focused on Hiraga Chunan who was a member of the Ogyu’s academic group, and he was very negative on that trend. Analyzing his biography and statements selectively, I considered on that trend multilaterally.

研究分野：日本近世文学

キーワード：唐詩選　世説新語補　徂徠学派　明清漢籍　和刻本　通俗的注釈　平賀中南

１．研究開始当初の背景

唐代詩人の総集『唐詩選』は享保 9（1724）年に江戸嵩山房小林新兵衛から李攀龍編の無注本が刊行され、以後、『唐詩選』ブームといわれるほど、箋注、国字解、講釈、和訓の名を付したテキスト、注釈書が数多く刊行された。日野龍夫「『唐詩選』の役割」（『徂徠学派』筑摩書房　1975　『日野龍夫著作集』第 1 巻所収）、大庭卓也「和刻『唐詩選』の盛況」（『東アジア海域叢書』第 13 巻所収　汲古書院　2012）などが近世期全般にわたる流行の意味を明らかにしている。

また、竹林の七賢人や王羲之など、後漢及び魏晋の名人の逸事逸聞集である『世説新語』、すなわち古世説を元にして、明の王世貞が宋元の人物記事を補訂して作った『世説新語補』は、元禄 7（1694）年に李卓吾批点を称する明版を元にして和刻本が刊行され、安永 8（1779）年には校正改刻版が刊行された。これに基づいた注釈も 2、3 ではない。大田南畝『仮名世説』など江戸文芸に与えた影響も大きく、近世期において世説とは、すなわち『世説新語補』のことであった。こちらについての研究はほとんど見られない。

本研究は 18 世紀前半から 19 世紀初頭にかけて、享保から文化期あたりを範囲として、主に蘐園派（荻生徂徠門下の古文辞学派。以下、蘐園派）及びその周辺の人々によって制作された『唐詩選』と『世説新語補』の注釈書を取り上げ、注釈の内容を詳細に吟味することを通して、近世中期の明清漢籍受容の一端を明らかにするものである。

２．研究の目的

和刻本漢籍は近世中期に至って従来の漢籍本文と注に句読を打ち、送り仮名を添えたものから、読者の便宜に配慮して、平易な和訓や語句の説明を加え、国字訳（通俗訳）を付した、いわゆる通俗的啓蒙的テキストが刊行されるようになった。書名に、国字解、講釈、諺解、掌故などの語句を含むものがそれである。こうしたわが国における中国学芸の一般化、通俗化の傾向は、近世期に顕著な傾向であり、漢学者と書肆が提携して、拡大する読者層の要望に応えるものであった。

本研究は、口述や講話の場面をより反映した国字解や講釈などの書名をもつ通俗的注釈書に留意して、和刻本漢籍の注釈の通俗化の様相について、具体的な検討を加えるものである

３．研究の方法

本研究は以上の『唐詩選』・『世説新語補』を主たる考察事例として、江戸の蘐園派を中心とした通俗的注釈の諸相を検討することにあるが、その際、上方を視野に入れることと訓詁の注との関連を考慮することにしている。また、江戸期における明清漢籍受容史の観点を明確にし、二例の明清漢籍テキストと和刻本の関連、明人、清人注、邦人注、通俗訳など、個別事例の言語接触全体を視野において、課題を検討することに留意している。

４．研究成果

3 年間の研究期間内に国内外において調査及び資料収集した主な機関および古典籍(古籍)・資料は、以下の通りである。

国内機関は国立公文書館内閣文庫、国会図書館、東京都立中央図書館、早稲田大学図書館（以上東京）、蓬左文庫（名古屋市）、龍谷大学図書館（京都市）、広島市立図書館浅野文庫、三原市立中央図書館等である。

海外機関は故宮博物院図書文献館、台湾大学中央図書館、台湾国家図書館（以上台北市）、北京大学図書館、中国国家図書館、北京師範大学図書館、首都図書館（以上北京市）等である。

古典籍資料について、『唐詩選』は蔣一葵注『箋釈唐詩選』2 種、『唐詩選鐘惺注』、『黄家鼎評訂李于鱗唐詩選』、『唐詩選彙解』、『唐詩選平』、『唐詩選直解』、『呉註唐詩選』、『唐詩訓解』等の注釈、その和刻本の書誌調査・資料収集を行った。また服部南郭『唐詩選国字解』、千葉芸閣『唐詩選講釈』・『唐詩選掌故』、宇成之『唐詩選解』、釈大典『唐詩選解頤』などの邦人注釈の書誌調査を行った。特に徂徠が若い時に南総で読んだという『唐詩訓解』(『蘐園雑話』) の和刻本、千葉子玄口述・服部南郭・秋山玉山・石島筑波等纂輯講説を唱う『唐詩選講釈』などに留意して、複数の伝本の調査を行った。

『世説新語補』について、明清版『世説新語補』、元禄和刻本『世説新語補』、安永改刻版『校正改刻世説新語補』などの和漢テキスト、また『世説鈔撮』・『世説鈔撮補』『世説鈔撮集成』、『世説新語補索解』、『世説最解』、『世説雕題』、『世説新語補考』、『世説音釈』、『世説蒙求修辞』などの邦人注釈およびその抜本、写本の調査を行った。

蘐園派研究として、石島筑波の自筆稿本『芰荷園文集』および『芰荷園諸稿』の調査を行った。筑波が講釈に用いたと推定される芰荷園本『世説新語補』(東京都立中央図書館蔵) の調査も継続実施した。

上方学芸界の重鎮森川竹窓について、明清漢籍受容史の観点から読書ノート『古香斎随筆(筆記)』の調査を行った。

また上方の漢籍書肆として知られる河内屋吉兵衛調査の一環として、当時の著名文人が序跋詩文を寄せる『唐土名勝図会』の諸本の調査を行った。

また、『世説新語補』、『唐詩選』双方の注釈書を著した平賀晋民については、特に留意して、伝記著作の両面に渉って検討を行ったが、中南の主著『春秋稽古』の伝本についても調査した。

以上の調査研究をふまえて公刊発表した主な研究成果は以下の通り。

「都賀庭鐘『過目抄』考」(「日本漢文学研究」第 10 号所収) は、庭鐘の読書ノート『過目抄』(天理図書館蔵) に抄出された漢籍について、個々の抄記内容や書誌的記述、漢籍の伝来と舶載資料、同時代人資料を分析し、庭鐘が実際に手元に置いて披見した版本を推測して、庭鐘の読書環境の一端を明らかにした。庭鐘の『英草紙』は読本のジャンルを創始した近世小説であるが、ここに用いられた語彙(漢語と和訓、特に小説読者に理解される通俗性をもった後者) の具体的な材源がいかなるものであったかについて貢献することを期したものである。

庭鐘の読書は、先の森川竹窓『古香斎随筆(筆記)』、また儒者の奥田松斎の読書ノート『拙古堂日纂』を併せ見ると、共通するものがあり、近世中期上方の漢籍受容の一面をうかがうことが出来る。

上田秋成について、「秋成の学問」と題してその概略を『上田秋成研究事典』(2015) に掲載した。また「烈婦の恋一近世小説のヒロイン」と題して、浅井了意から曲亭馬琴までの近世小説の典型的なヒロインの造型の展開を素描した(『恋する人文学一知をひらく 22 の扉一』(2016)。これも知的営為と通俗性を内に抱えざるを得ない小説作者の問題例である。

2016 年 4 月、二松学舎大学で行われた文部科学省私立大学研究基盤形成支援事業(略称ＳＲＦ) 研究報告会において、「唐音・訓読・国字解　一平賀中南の読書論一」と題して、『唐詩選』巻七李商隠七絶「夜雨寄北」を例として、中南の『唐詩選夷考』、服部南郭『唐詩選国字解』ほかの邦人諸家の注釈、通俗的注釈を検討し、特に平賀中南が蘐園流の音読論の立場に立って、訓読と国字解の批判を展開していることから、彼の漢学初学書『学問捷径』中の言説を取

り上げて考察した。また、併せて職業としての儒者のありかたが同じ蓑園派でも二極に分かれていることを中南の儒者遊民論の言説を取り上げて論じた。

2016 年 11 月に二松学舎大学で行われた「論語の学校」講演（二松学舎大学主催）において、「庶民の分度―上田秋成と『論語』―」と題して講演した（他の登壇者は河田悌一・石川忠久・牧角悦子氏）。これは『論語』を通俗化していく例として、江戸期に広く流布した自学自習書の渓百年『経典余師』を取り上げて、当時の庶民教化の文化施策と秋成の『論語』理解について、秋成の分度意識に焦点を当てて論じた。渓百年『経典余師』は、朱熹の注の俗解であるが、平明ですぐれたものであることを再確認した。また、この際、寛政改革時に老中松平信明の招聘に消極的であった平賀中南の学問姿勢についても言及した。

中南に関しては 2017 年度 3 月三原市中央公民館において行われたＳＲＦ・三原市教育委員会共催講演会「平賀晋民の世界」（他の登壇者は野間文史氏）で、「平賀晋民の人と学問」と題して講演を行った。中南（晋民）は学問的姿勢としては通俗化を拒否し、また官途に就かず、戯作や芝居を好む当代の著名人であったことを述べた。講演会は市民を対象にした学術講演会であったが、約 100 名の聴衆の来場があり、この種の催しとしては盛況であった。

またこれに併せて、中南伝の名著、澤井常四郎『経学者平賀晋民先生』に解題を付して覆刻版を刊行した。これは三原市立図書館初代館長の澤井常四郎氏が昭和初年に公刊した平賀晋民の伝記研究であるが、なお学問的意義の高いものとして、稲田の解題を付して覆刻し、報告紹介したものである。解題には本研究課題遂行の過程で得られた知見を盛り込んだ。なお講演会、出版の経費根拠は SRF。

「和刻本『世説新語補』の書入三種」（「日本漢文学研究」8 号　2013）は平成 23 年度から 25 年度の 3 年間、「『世説新語補』を事例とした近世日本の明清漢籍受容史の研究」（課題番号 23520231）の研究課題名で科学研究費補助金の支援を受けた時の研究成果で、『世説新語補』明清版、和刻本二種の伝本調査と那波魯堂、石島筑波、秋山玉山、服部南郭、太宰春台、千葉芸閣らによる書入れ本 3 種を検討したものである。本研究の研究背景をなす。

本論文が李由氏によって翻訳され、南京大学張伯偉氏編『域外漢籍研究集刊』第 14 集に掲載された。本論文はすでに海外研究者によって引用言及されているが、今回のこの翻訳によって、蓑園派を通して見た東アジア漢字文化圏の言語接触の一例を提示したものとして、斯学にさらに貢献できたのではないかと思われる。

５．主な発表論文等

〔雑誌論文〕（計 4 件）

① 稲田篤信、都賀庭鐘『過目抄』考、日本漢文学研究、査読無、10 号、2015 年、105-122

② 稲田篤信、樊噲考一絵詞として読む『春雨物語』一、国文論叢、査読無、51 号、2016 年、29–37

③ 稲田篤信・李由　和刻本《世説新語補》的三種手批本、域外漢籍研究集刊、査読無、14 輯、2016 年、35–49

④ 稲田篤信、江戸期の西行伝承一面一秋成と竹窓の場合一、西行学、査読無、8 号、2017 年（予定）

〔学会発表〕（計 4　件）

① 稲田篤信、唐音・訓読・国字解　―平賀中南の読書論―、ＳＲＦ研究報告会（第 3 回）、2016 年 4 月 28 日、二松学舎大学（東京都）

② 稲田篤信、江戸期の西行伝承一面一秋成と竹窓の場合一、第 8 回西行学会、2016 年 8 月 27 日、二松学舎大学（東京都）

③ 稲田篤信、庶民の分度―上田秋成と『論語』―、平成 28 年度論語の学校、2016 年

11 月 19 日、二松学舎大学（東京都）

④ 稲田篤信、平賀晋民の人と学問、ＳＲＦ・三原市教育委員会共催講演会、2017 年 3 月 18 日　三原市中央公民館（三原市）

〔図書〕（計　3 件）

① 稲田篤信　他、笠間書院、上田秋成研究事典、2015 年、205-215

② 稲田篤信　他、翰林書房、恋する人文学一知をひらく 22 の扉一、2016 年、109-118

③ 稲田篤信　澤井常四郎、研文出版、澤井常四郎『経学者平賀晋民先生』、657-673

６．研究組織

(1)研究代表者

二松學舍大学・文学部・教授
稲田篤信（INADA ATSUNOBU）
研究者番号：20168404